

令和5年8月定例会会議録

大崎町教育委員会

○日 時 令和5年8月22日(火)
15時35分から16時55分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	穂園 正幸
教育長職務代理者	溝口 信男
教育委員	二見 いすず
教育委員	小野 まゆみ
教育委員	吉田 博文

○関係者

管理課長	岡留 和幸
社会教育課長	鎌田 洋一
管理課庶務係長	井元 享一朗

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認
- 3 委員の報告
- 4 教育長行政報告
- 5 報告
- 6 議案
議案第 11 号 大崎町教育委員会外部評価報告書について
議案第 12 号 猿喰の石造物の町指定について
- 7 委員から提出された動議の討論等
- 8 その他
- 9 翌月の行事等
- 10 閉会

○議決事項

議案番号

件名

審議の状況

採決次第

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
	なし		

○会議要旨

1 開会

教育長	ただいまから、8月定例会を始めます。
2	前回会議録の承認
教育長	異議なく承認
3	委員の報告
溝口委員	<p>7月25日(火)に開催された、市町村教育委員会研修会に出席した。当日の出席者は、総勢80名程度の出席者で例年と比べると少ないように感じた。開会のあいさつは、県副教育長がなされ、その後、生徒指導の充実について、高校教育課生徒指導監から説明があった。生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書である「生徒指導提要」が、令和4年12月に12年ぶりに改訂され、改訂のポイントとして、「積極的な生徒指導の充実」、「この十数年で整備された法律等の反映や社会環境の変化の反映」、「学習指導要領やチーム学校等の考え方の反映」を目的に改訂されたとのことであった。これまでの生徒指導は「発生後の個別対応」が重視されていたが、改訂版では、具体例として自殺やいじめなどについて、「未然防止」、「早期発見」、「早期対応」、「関係各機関との連携」などの4つの局面について、詳細に適切な対応を求められていることや、「チーム学校」による指導体制の構築を求めている点や、大声で怒鳴るとか物を叩く、投げるなど不適切な指導についても初めて示されていること、また、学級や学校を、どの子供にとっても落ち着ける居場所づくりとして提供することなどが盛り込まれた。生徒指導を実践するためには、教職員同士が支えあい学び合う同僚性が基盤となるなどの多様な内容の海底とのことであった。</p> <p>また、「学力向上及び教育の情報化について」と題し、義務教育課長のボリュームのある講話があった。その中のパワーポイントの一コマに「教育委員、校長、教師次第で良くも悪くも変わる」とあり、やるのもリスクだがやらないのもリスク、失敗しない人はいない、子供たちが楽しく学んでいるかの視点を持つこと、教育委員は内外併せ持つ立場なので、良いフィードバックと提案をいただき、学校が変わろうとするサポートをしてほしい等という言葉が、強く印象に残った。</p> <p>次に、特別支援教育の推進については、担当課長から令和5年度の</p>

特別支援教育の主な動きとして、「養護学校」から「特別支援学校」へ名称変更され、「鹿児島南特別支援学校」が開校したこと、特別支援学級の推移については、自閉情緒学級 956, 知的学級 816, 肢体不自由学級 53, 病弱身体虚弱学級 34, 難聴学級 24, 弱視学級 3 学級と、年々増加傾向にあることなどの説明があった。

講演では、「デジタル社会における情報リテラシー」と題して、総合教育センター情報教育研修課長から、今話題の生成 A I について、初等中学教育段階における生成 A I の利用に関する暫定的なガイドラインに基づいての説明や利用する場合の留意すべきこと、今後の生成 A I の動向や、デジタル社会において子供たちに身につけてほしい情報活用能力の必要性について話された。

最後に、「強度教育の推進について」を協議題として、社会教育課長からの郷土教育推進事業の紹介の後、6 班のグループに分かれて協議がなされ、垂水市、南さつま市、阿久根市からの取組状況について発表があった。特に阿久根市では、キャリア教育推進に商工会・市行政・市教委の産学官で、地域に伝わる伝統の継承や阿久根のいいところや魅力を子供たちに伝えて、阿久根の次世代を担う人材育成を目指して、小学校 5・6 年生からキャリア教育や体験学習に取り組んでいる内容の紹介があり一目置いた発表であった。

8 月 3 日（木）・4 日（金）は、曾於地区教育振興会管外研修に参加し、九州地区市町村教育委員会研修大会と併せて、九州地区市町村教育委員会連合会総会に出席した。九州地区市町村教育委員会連合会総会については、3 年ぶりに開催され、協議内容は、令和 4 年度の事業報告、決算報告、令和 5 年度の事業計画・予算や特別会計等の審議がなされ、会長には次回九州地区研修大会開催地の長崎県連会長、副会長には熊本県連会長と鹿児島県連会長、幹事には沖縄県連会長と宮崎県連会長に決定された。

九州地区市町村教育委員会連合会の予算は、各県連負担金 30,000 円×8 県、総会負担金 9,000 円×8 県、前年度繰越金 754,000 円、総額 1,060,000 円で運用されているようで、九州地区研修大会予算は、大会参加負担金 3,000 円×750 名、補助金として全国連から 130,000 円、九州連一般会計から 100,000 円、九州連特別会計から 250,000 円、繰越金が 1,060,000 円あり総額 5,590,000 円が研修大会運営費となっているようであった。

研修大会の行政説明は、「部活動の地域連携・地域移行について」と題して説明があった。今後の部活動の地域移行のイメージ・全体像や地域移行の取り組み事例を多く示されていたが、これからが実証事業の段階で部活動指導員の確保など課題が多い中、今の現状はほとんどが手探りの状態であることを実感した。報道でみた中で、国のモデ

	<p>ル事業として昨年から部活動の地域移動の可能性を探っていた北海道の紋別市教育委員会が、今年の2月に断念していたという記事を見たが、力量のある担い手探しと報酬等の課題で行き詰っているようであった。当初の教職員の働き方改革に繋げる部活動の地域移行の対応については、指導者の受け皿の確保が容易ではないこと、児童生徒の安全上の不安、保護者の経済的負担などの課題解決に鋭意取り組みが不可欠で難しい課題であると思う。</p> <p>2日目の佐賀城本丸歴史館の見学では、ボランティアガイドさんから詳しく説明していただいた。明治維新前後の先進的な鍋島藩のことがよくわかり蒸気船や鉄製大砲、高炉の建造などの模型は、時代の先端を行っていたことや、薩摩長州と比較しても興味深い立派な施設だった。城としても、平屋城で珍しく、特に大広間は一見の価値があった。</p>
二見委員	<p>7月25日（火）に開催された教育委員の研修に参加したが、研修の最後の方で違う地域の方々とグループを組んでディスカッションする場があったが、声が聞き取りにくいトラブルがあり少々残念であった。様々な地域の方と話ができる貴重な場であったので、もう少しうまく運営できなかつたかなと思った。また、屋久島町の方々に、子供たちに対する郷土教育をどのように取り組んでおられるか尋ねたところ、いろんな方が関わっているということで、屋久島は世界遺産に登録されているため、島外から入ってきている方やボランティア、地域の若い青年団の方々が一緒に関わって子供たちが郷土の様々な行事に参加することをバックアップしていることが印象的であった。</p>
小野委員	<p>7月29日（土）からかごしま総文が開催されたが、29日のパレードと7月31日（月）・8月1日（火）の吹奏楽を鑑賞させていただいた。県外からの生徒が大勢参加していたが、子供たちに話を聞くと、このような発表の場がありとても楽しくいい思い出になったという感想であった。そのような発表の場は大切であると実感した。</p> <p>8月3日（木）・4日（金）の曾於地区教育振興会の研修に参加したが、曾於市、志布志市の教育委員会の方々からいろいろな話を聞けたり交流できて大変有意義な研修であった。</p>
吉田委員	<p>子ども食堂の件について、夏休み期間中の8月12日（土）に開催された野方子ども食堂に行ってみた。現在、子ども食堂の取り組みは非常に広まっており、この野方子ども食堂については、大隅地区で活動する子ども食堂全体の食糧供給基地に設定されており、鹿児島市内から運ばれてくる食材、野菜、お米などの中継拠点としても取り組ん</p>

	<p>でいるとのことであった。8月1日（火）には、大崎町内に3か所ある子ども食堂の中の、菱田校区のひまわり食堂が、中沖小学校からの依頼で中沖小学校の子供のために一日限定で開設されたということも聞いた。昨日は、大隅地区で唯一子ども食堂がなかった東串良町にも最初子ども食堂がオープンされたということで、地域の方と子供たちのつながりが益々広がって行くのではと思った。</p>
4	<p>教育長行政報告</p>
教育長	<p>※資料に基づき報告</p> <p>7月31日～8月3日、学力アップセミナー開講。19名参加。昨年度に比べ参加者が少なかったが、昨年に比べ3年生全体数が少ないことや、塾通いの生徒が増えていることも原因と考えられる。今年度は鹿児島大学との連携協定で、4名の学生が講師として参加していただき大変良い指導をしていただいた。</p> <p>8月3日～4日 曾於地区教育振興会管外研修</p> <p>8月5日、七夕祭剣道大会。3年ぶりの開催で小学校低学年の部に29チーム、高学年の部に34チーム、中学校の部に24チーム参加があった。</p> <p>8月9日 大隅地区教頭研修会が台風6号接近に伴う中止</p> <p>8月10日 教員指導力研修</p> <p>8月11日～17日 学校閉庁（リフレッシュウィーク）</p> <p>8月12日 七夕さあ</p> <p>8月19日 菱田・中沖夏祭り</p> <p>8月21日、大崎町管理職等合同研修会を実施。鹿児島県教育庁教職員課の人事監理官を講師で招き、服務、県内の様子、管理職のあり方等について研修を行った。</p> <p>8月22日 公民分館長会</p> <p>同日、大崎町総合教育会議及び教育委員会定例会</p> <p>※以下、今月の今後の行事予定。</p> <p>8月23日 鹿児島県教職員レクリエーション研修会</p> <p>8月25日 鹿児島県町村教育長会研修会</p> <p>8月26日 大丸夏祭り・野方ふるさと祭り</p> <p>8月28日 町議会開会</p> <p>8月29日 大崎町小中学校教職員人権教育研修会・講演会</p> <p>8月31日 大崎町校長研修会</p> <p>8月の主な行政報告は以上です。</p>

5	報告
	(今回はなし)
6	議案
管理課長	<p>(1) 議案第 11 号 大崎町教育委員会外部評価報告書について</p> <p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎町教育振興基本計画施策体系図 ・教育委員会委員の活動状況の評価について ・主要事業の評価について <p>(管理課関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康教育の充実 ②キャリア教育の推進 ③教育の情報化の推進 <p>資料に基づき説明</p>
社会教育課長	<p>(社会教育課関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①青少年教育の充実 ②生涯スポーツの振興 <p>資料に基づき説明</p>
教育長	質疑はありませんか
教育長	自己評価と総合評価との整合性が取れていないところもある。今後、外部の意見を反映するような書式への変更や、指標や評価の基準など検討していく必要があると思う。
溝口委員	社会教育課のスポーツ事業について、グラウンドゴルフやパークゴルフなど、新聞記事にも掲載されるような参加者の多い人気のあるスポーツをもっと導入してよいのではと思う。
社会教育課長	軽スポーツのボッチャなど、人気が出てきている競技も現在推進しているところです。

<p>教育長</p> <p>社会教育課長</p> <p>教育長</p>	<p>他にございませんか</p> <p>原案可決することに意義はありませんか</p> <p>(異議なしと発言)</p> <p>異議がないので、議案第 11 号は原案可決とする。</p> <p>(2) 議案第 12 号 猿喰の石造物の町指定について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>質疑はありませんか</p> <p>原案可決することに意義はありませんか</p> <p>(異議なしと発言)</p> <p>異議がないので、議案第 12 号は原案可決とする。</p>
7	委員から提出された動議の討論等
教育長	発言がないので、動議はないものとします。
8	その他
<p>二見委員</p> <p>教育長</p>	<p>夏休み明けの新学期に向けて子供たちへの心配りについて</p> <p>夏休みが明けて新学期が始まる時に、子供たちが心が不安定になるという報道がよくあるが、子供たちに細やかな心配り目配りを先生方にはお願いしたい。</p> <p>昨日、管理職の研修会があり出校日でもあったため、管理職研修会の冒頭で、特に出校日に休んでいる子供や1学期不登校気味であった子供、気になっている子供には声を掛けてもらい、学校にはあなたのことをいつも思っているというメッセージを伝えてくださいと話をしております。</p>

9	翌月の行事等
管理課長	9月1日から9月30日までの行事を資料に基づき報告
10	閉会
教育長	以上で、8月定例会を終了いたします。 以上